



ご当地 歯医者 茨城

No.611

茨城県歯科医師会

Ibaraki Dental Association

June

2020
令和2年

6



Contents

デンタルアイ	1
岡崎 恵一郎	
旭日小綬章を拝受して	4
森永 和男	
理事会報告	6
会務日誌	8
専門学校だより	9

表紙写真について

茨城県フラワーパーク「バラまつり」の風景です。外出自粛要請によりなかなか再訪できませんが、落ち着いたころにはまたゆっくりと楽しみたいと思います。

(社) 鹿行歯科医師会 出久根 亮一

歯科専門学校と日歯学術の現況



常務理事
岡 崎 恵 一 郎

年の初めには予想だになかった新型コロナウイルス感染症蔓延の中、皆様いかにお過ごしでしょうか。日々、衛生器材の不足と感染に対する不安の中での診療に苦慮されていることと思います。

このような状況ですので、私が担当させていただいている茨城歯科専門学校・日本歯科医師会学術委員会も新型コロナウイルス感染症の影響を受けています。

【専門学校】3月5日（木）卒業式、歯科衛生士科39名、歯科技工士科8名が卒業。新型コロナウイルス感染拡大防止対策で入学生・保護者・学校役職員など限られた人数の出席者、夕方の謝恩会は中止と、例年とは異なる縮小開催となりました。その後、3月26日に国家試験の発表があり、歯科衛生士科現役37名（他既卒1名）合格、歯科技工士科は8名全員が合格しました。大変な社会情勢の中、新年度から医療人として社会に羽ばたきました。

4月8日（水）には令和2年度の入学式が挙行され、歯科衛生士科49名、歯科技工士科14名入学。今回、歯科技工士科入学者数がかなり増えました。卒業式に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため縮小開催となりました。

授業については令和元年度3月13日～24日臨

時休校、令和2年度4月7日始業式・8日入学式にて各学年に「ラッシュアワーと重ならぬよう時差登校3時限短縮授業（通常は4時限）」を伝えました。ところが、同じ4月7日に7都府県に緊急事態宣言、翌8日に茨城県から「県民への協力依頼」が発表されました。それを受け本校も一転4月10日から5月6日まで臨時休校としました。

休校期間に文部科学省から新型コロナウイルス感染防止対策の種々文書が発出され、それを読み進めていくと「Web授業」ありきの内容でした。Web授業ができる人的スタッフも予算もなくどうしたらよいものかと頭を悩ませながら、本会職員と専任でWeb授業を設定できるよう準備を進めたところで連休入り。

連休明けには、「Cisco Webex」というWeb会議システムを使用してWeb授業を開始しました。最近ではパソコンを持たずスマホのみの学生もあり、画面が見えず不利にならぬ配慮、家にWiFiがない学生は通信量上限対策など、まだまだ問題山積です。Web授業では、双方向で学生全員の顔が映ります。何度か様子を見るため参加しましたが、普段の授業よりも緊張した面持ちに見えます。歯科医療を学ぶためには、診療現場を見て学ぶ衛生士科の実習、そして技

工士科では種々制作物を完成させる実習が必要です。すべてをWeb授業で完結することは困難で、新型コロナウイルス感染症の収束を心待ちにしています。

【日歯学術委員会】日本歯科医師会学術委員会においても、新型コロナウイルス感染症に対し種々対策をしております。その中で現在学術委員会が関与するのは「歯科医師がPCR検査を行う際の研修」と「日歯生涯研修事業」です。

4月26日「PCR検査に係る人材に関する懇談会」で歯科医師によるPCR検査実施について検討されました。内容には種々条件がありますが、歯科医師がPCR検査を行う際には事前に研修を受けることが明記されました。研修に関する内容は厚生労働省と委託された有識者が責任を持って作成します。その後、日本歯科医師会がEシステム内に掲載し教材を提供、研修修了証を発行します。大学勤務者や病院歯科の歯科医師には日本歯科医師会非会員もありますが、この教材に関しては特別にEシステムを使用できるようにします。PCR検査を行わない日歯会員も、新型コロナウイルス感染症やPCR検査についての知識を得るためEラーニング研修を受講できます。また、e-learning研修単位も取得できます。

また、全国に発令された非常事態宣言が解除された後、我々が会場に集合し参加する学術講演会や学会がこれまで同様に開催できるようになるまでにどれくらいの期間を要するか現時点ではわかりません。4月に開始したばかりの令和2・3年度日歯生涯研修事業では、「日本歯科医師会生涯研修総合認定医」取得のためには生涯研修セミナーライブ研修単位や、日本歯科医学会専門分科会・認定分科会の学会・茨城県歯科医学会などに参加し取得する特別研修単

位を取得する必要があります。現在、多くの学会がWeb開催など新たな形態に移行し、特別研修単位が取得しにくくなっています。さらに、今年度の日歯生涯研修セミナーも開催できるかわかりません。現時点で、6月の大阪会場は延期となっています。先生方には3月に新・実施要領をお届けしたばかりですが、現在、日歯生涯研修「修了」・「総合認定医」取得要件を改変しています。確定後、できるだけ早くお知らせできればと考えています。Eシステム内のe-learning研修や、新たに「自宅でセミナーをWeb受講する」受講研修を新設、これらのみで修了・認定医を取得できるよう検討中ですので、改変される実施要領をぜひご覧いただければ幸いです。

専門学校のWeb授業で使用している「Cisco Webex」は平成31年度に日本歯科医師会から各都道府県歯科医師会にそれぞれ1ユーザーID配布されました。元々は生涯研修セミナーをサテライト会場に配信することが目的でしたが、当時から各種会議や災害時の災害対策会議などに活用できると想定しての導入でした。日本歯科医師会では、新型コロナウイルス感染症蔓延後、理事会・都道府県会長会議・各種委員会で活用されています。このような経緯からWeb会議システムを多少経験し、専門学校でのWeb授業にも活かせたと思います。本年5月現在、米国・日本ともにWeb会議システムではZoomが最もシェアを獲得しているようですが、無料IDではZoomは40分の時間制限があるのに対し、Cisco Webexは無料IDでも時間制限がありません。各地区歯科医師会の講演会Web配信や理事会・委員会活動に有用かと思います。

新型コロナウイルス感染症の早期の終息を願うばかりですが、当分は共存していくこととな

りそうです。会員の皆様には、まずはご自身や
スタッフの健康を守り、さらに国民の口腔そし

て全身の健康を守るためご活躍いただきますよ
うお願い申し上げます。

株式会社岩瀬歯科商会

昭和の幕開けと共に栃木県で創業した弊社は、今年で 90 年目を迎えます。
皆様方への感謝を忘れず、未来を見据えた歯科ディーラー像を創造して参ります。

イワセオリジナルユニット SIGNO NEXT

こだわりと好みをひとつずつ反映しながら、
ワンランク上のラグジュアリー空間と
心地よさを演出します。

■ 製品名称 歯科用ユニット
■ 販売先名 シグノ
■ 所属区分 栃木県伊勢崎 株式会社 株式会社 株式会社
■ 販売地域 栃木県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 東京都 東京都 東京都
■ 販売地域 栃木県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 東京都 東京都 東京都

製造販売・製造

株式会社モリタ東京製作所

本社〒350-8514 栃木県宇都宮市中央区上落合 2-1-24 TEL:048-832-1315 大阪本社 大阪府吹田市豊水 3-33-18 TEL:06-6380-2525
伊勢工場 埼玉県北足立郡伊勢町小室 7129 TEL:046-723-2021 東京本社 東京都台東区上野 2-11-15 TEL:03-3834-6161

発売

株式会社モリタ



事業所案内

本社	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL:028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL:029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷観音下159-1	TEL:047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL:043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL:0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL:024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL:03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11	TEL:03-5912-1180
横浜支店	横浜市栄区小菅ヶ谷1-28-9-101	TEL:045-895-3808
5月GW明け以降	横浜市磯子区中原2-1-19	NEW TEL:045-770-4182
前橋支店	前橋市紅雲町1-22-2	TEL:027-243-8241
5月GW明け以降	高崎市京目町176-2	NEW TEL:027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL:046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL:048-688-1740
盛岡支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL:019-648-2777
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL:042-590-5770

令和2年春の叙勲において、県歯科医師会会長森永和男先生が旭日小綬章を受章されました。
森永先生からのコメントを紹介いたします。

旭日小綬章を拝受して

茨城県歯科医師会

会長 森 永 和 男

今般、旭日小綬章受章の栄に浴しました事は、誠に身に余る光栄に感じますと共に、これまで私を支えてくださった理事の先生をはじめとする会員の先生方に心より感謝申し上げます。

平成26年、口腔センターのいままでの運営に対する不適切さを県から指摘され、我々の弁明も理解されずに不適切運営と断を下され、その後の公益社団法人としての茨城県歯科医師会の苦難が少なからず生じてしまいました。当然茨城県歯科医師会に対する叙勲の見送りに影響を与えたと感じております。

これに対して、弁明するのではなく、毅然とした態度で茨城県歯科医師会の立場を主張し、県民の健康維持のために努力、理解して頂く事に邁進し、貢献することによって歯科医師会の存在価値を高める事が会員のためと考え、今まで以上に積極的に関与し、意見を述べることに努力して参りました。

超高齢社会の到来をきっかけとして、茨城県歯科医師会会員の努力もあり、お口の健康の大切さが全身の健康につながる事を機会あるごとに行政、県民の皆様へ訴えて参りました。

苦節10年と申しますが、歯科医療に対する県民の関心が高まってきたこと、そして強い歯科医師会となり、私の求めていた歯科医師のステータス

が徐々に得られてきたことは本当にうれしく思っております。結果として令和2年の叙勲が旭日小綬章として認められたと感じております。これはさきほども申し上げました通り、理事、会員の先生方の努力に対しての受章と感じております。

さて、この会長在任の10年間を見えますと、大きな災害に始まって、大きな災害で終わってしまうという感が致します。

会長に就任した年は、忘れもしない2011年3月11日に100年に1回と言われた未曾有の東日本大震災が起こり、その対策に頭を悩ませた年でもありました。その時は早めに理事候補を決めさせて頂いたのが功を奏し、難局にあっても比較的スムーズに事が運びました。3月11日までに理事の選定がなされなかったら、と思うと今でもぞっといたします。まだ代議員会での承認は得られていなかったにも関わらず理事候補全員が一丸となって、この大震災に対処して頂いた事、そして第1回理事会に集まって頂いた時にはすでに1年以上もお付き合いをしている錯覚すら覚える感がいたしました。この時ほど、出会いの大切さ、お互いの信頼の大切さを感じたことはありません。

この機会があって、理事の先生方の結束は強くなり、一丸となって茨城県歯科医師会の発展のためにご尽力頂きました。結果、今の茨城県歯科医

師会があると思うと感無量であります。

当時はまだ、歯科医療は「痛ければ治す」という完結型医療でしたが、この概念を変えなければいけないと考え続けて参りました。その後、高齢化が進むにつれて、一層歯科医療はこれで良いのかという疑念を持ち、口腔ケアを含む「口腔健康管理」こそ歯科医療の努めと考え、「生活を支える医療」に重きをおき、行政、県民の皆さんに訴えて参りました。結果として、少なからず県民の健康に寄与し、超高齢社会に対する「楽しい老後の生活」を育むための一助になってきたこと、また「噛むことは生きること、生きことは噛むこと」の概念が少しずつ県民に浸透してきていることへの実感が出てきたことはうれしく思います。

ただ、会長の集大成として、この受章を機に執行残り1年間で更なる飛躍を考えておりましたが、今年の2月から新型コロナウイルス（COVID-19）感染が蔓延し、世界を席卷してしまいました。これに対する対策を考えなければなりません。これからはいかに新型コロナウイルスと共生を図るか、またこのピンチをチャンスに

変えられるかが試されております。

今回の新型コロナウイルス感染で痛感させられたのが、WEB会議をはじめとするIT活用の必要性です。IT活用による東京一極集中型から地方への分散、歯科医師会でもそれぞれの都道府県歯科医師会のあり方の変化、このようなグローバル化した世界に対応していかなければならない事を痛感しております。同時にこれを契機に世代交代の必要性も感じたところであります。これからは新しい感覚での歯科医師会の再出発を願っております。茨城県歯科医師会もアナログからIT時代へのスムーズな転換を図って参りたいと考えております。

ここで考えることは古きものを大切にしながら新しいものへの挑戦だと思えます。まさに「温故知新」、すなわち茨城県歯科医師会という伝統に立った上での変革をしなければなりません。残りの時間を有効に会員のために一層努力を重ね精進して参りたいと思っております。

本当にありがとうございました。

理事会報告

第1回理事会

日 時 令和2年4月16日（木）16時

場 所 茨城県歯科医師会館会議室（Web会議）

報告者 柴岡 永子

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 連盟報告

4. 報 告

(1) 一般会務報告

(2) 退会について

(3) 開業予定の歯科医院について

(4) 疾病共済の支払について

土浦石岡地区 1名 22日間

珂北地区 1名 15日間

県西地区 1名 45日間

(5) 平成31（2019）年度県委託事業・補助事業について

(6) 令和2年度親と子のよい歯のコンクールについて

(7) 事業補助実績報告【土浦石岡歯科医師会】

(8) 令和2年度「ダメ。ゼッタイ」国連支援募金運動の協賛について【茨城県】

(9) 令和2年度「ダメ。ゼッタイ」普及運動の後援について【茨城県】

(10) 委員会報告

広報委員会、地域保健委員会、
社会保険委員会、専門学校

5. 協議事項

(1) 入会申込みの受理について

世良田紀幸先生 西南地区 2種
日歯大卒 承認

(2) 第168回定時代議員会の開催について (案) 承認

(3) 令和2年度表彰事業について 承認

(4) 日本小児歯科学会第35回関東地方会の取手市開催支援のための広報（折込チラシ）の減免について 免除で承認

(5) その他

- ①新型コロナウイルス感染症対策本部を事務局に設置し、連携、協力し対応を図ることとする
- ②各委員会主催の講習会中止に関する件については各委員会に一任することとする

○行事予定について

5月21日（木）

10時から 第1回備品等監査

14時から 第1回業務会計監査

16時から 第2回理事会

6月4日（木）

15時から 議事運営特別委員会

16時から 第3回理事会

6月24日（水）

14時から 第168回定時代議員会

会務日誌

- 4月16日** 第1回理事会をWEB会議として開催。入会申込みの受理、第168回定時代議員会の開催（案）、令和2年度表彰事業、日本小児歯科学会第35回関東地方会の取手市開催支援のための広報（折込チラシ）の減免について協議を行った。
出席者 森永会長ほか19名
- 4月21日** 第3回県新型コロナウイルス感染症対策協議会がWEB会議として開催され、分科会の審議報告ほかについて協議が行われた。
出席者 森永会長ほか1名
- 4月23日** 第1回医療管理委員会をWEB会議として開催。今年度の委員会としての事業、各種助成金、新型コロナウイルス感染防止について協議を行った。
出席者 大字医療管理部長ほか10名
- 4月26日** 第2回医療管理委員会をWEB会議として開催。助成金と感染防止について協議を行った。
出席者 大字医療管理部長ほか9名
- 4月26日** 第1回学校歯科委員会をWEB会議として開催。第71回関東信越静学校保健大会・歯科職域部会、第84回全国学校歯科保健研究大会について協議を行った。
出席者 鶴屋学校歯科部長ほか10名
- 4月28日** 都道府県歯科医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会がWEB会議として開催され、各7地区の状況ほかについて協議が行われた。
出席者 森永会長ほか2名
- 5月13日** 第2回社会保険正副委員長会議を開催。第1回委員会《WEB会議》、疑義、広域連合との会談、審査、理事会、初診料の注1の施設基準届出の変更、次回委員会開催方法について協議を行った。
出席者 征矢副会長ほか4名
- 5月13日** 第2回社会保険委員会をWEB会議として開催。疑義、次回委員会開催方法について協議を行った。
出席者 征矢副会長ほか21名
- 5月14日** 第1回地域保健委員会をWEB会議として開催。今年度の事業計画について協議を行った。
出席者 北見地域保健部長ほか10名



【令和2年度 入学式挙行】

4月8日（水）午前10時から茨城県歯科医師会館講堂において、茨城歯科専門学校の入学式が、歯科衛生士科49名、歯科技工士科14名（うち女子9名）の新入生を迎え、挙行されました。今回は、新型コロナウイルスの感染予防のため規模を縮小し、新入生・保護者の他、特待生被表彰者・役員・教職員のみで行われました。

式は、岡崎恵一郎副校長の司会により進められました。校歌演奏に続き小澤永久、野口知彦両科教務副部長が入学生の氏名点呼を行い、征矢亘校長が入学許可を宣言されました。

その後、森永和男名誉校長より「入学された皆さんは、これからの学校生活のなかで大きな目標を作っていただきたい。目標を立てて自分のしっかりとした考え方をもって進めば苦難があっても必ず道は開けます。全員が国家試験に合格し、夢に向かって社会人として羽ばたいてください。」と訓辞を述べられました。

式辞は征矢亘校長が「皆さんのこれからの学生生活は、毎日が初めて出会う専門的な知識や技術の修得を中心としたものになります。戸惑いや悩み・苦しみを伴うこともあろうかとは思いますが、これから社会で医療人として生きていくために一つひとつを乗り越えていってください。そして、歯科衛生士・歯科技工士としての国家資格の免許を取得され、歯科医療の向上と地域社会に貢献されますことを念願致します。」と述べられました。



式辞を述べる征矢学校長

このあと、入学生代表の村山珠里奈さん（歯科技工士科）が「学則を守り、学生の本分に従って学業に精励します。」と誓いの詞を述べました。



誓いの詞を述べる村山さん

次いで、令和2年度特待生の表彰が行われました。

◇歯科衛生士科2年

大武千夏さん

◇歯科衛生士科3年

岩瀬未夢加さん

◇歯科技工士科2年

小田部留唯さん

以上両科の3名に対して学校長から認定証書とともに褒賞金が授与されました。

入学生は記念撮影のあと、まだ緊張のとけない様子で各科教室へ移動し、これからの学校生活についての説明を受けました。

また、保護者の方々には懇談会が設けられ、教職員の紹介、教育方針、年間の予定、国家試験に向けての対策、家庭との連携などについて説明がなされ、質疑応答を交えて相互の理解を深めました。

(文責 川崎)

みんなの写真館

Photo
Gallery



(社)鹿行歯科医師会 出久根 亮一

会 員 数

令和2年4月30日現在

地 区	会員数(前月比)
日 立	115
珂 北	148
水 戸	156 +3
東西茨城	73 ±1
鹿 行	103 -1
土浦石岡	179
つ く ば	134
県 南	174 -1
県 西	155 +1
西 南	105 ±1
準 会 員	4 -1
計	1,346 +1

みんなの写真館写真募集！

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、ご自宅の古いアルバムに埋もれた写真などをお送り下さい。

1種会員	1,152名
2種会員	70名
終身会員	120名
準 会 員	4名
合 計	1,346名



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 令和2年6月

発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和2丁目292番地

電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075

ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>

E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 渡辺 進

編集人 柴岡 永子



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。